



～社訓・誠意～

## 社長室だより



2022年2月末日号

私が高校生の時に手にし、落ち込んでる時に良く開いた漫画家 やなせたかしの詩集に「希望の星」と言う短い詩がある。随分前にご披露したことが有るのだが、覚えている人はいるだろうか。「今、辛くても悲しくても、夜がどんなに長くても、朝が来ない夜は無く、涙が乾かぬことも有りません。私を頼りにしてください。私はあなたの胸のなかにある希望の星なのです。」たしかこのような一編だった。二人の息子にも伝えたことが有り、どんなに辛くても、悲しい事が有っても泣くだけ泣いて、悔しい気持ちをかみしめて、でもそれに押しつぶされる事なく、あきらめることなく、自分の信じた道や絶対に達成したい事を「やれるんだ」と肝っ玉に言い聞かせ「達成するためにはどうしたらいいか」あらゆる角度から考えて具体的に動いてみる。具体的に動けば具体的な結果が帰って来る。だめなら違う方法を試せばいい。上手くいかないのならやり方を変えればよい。私には守るべき人がいる。背負っている責任がある。とそんな事を思えるようにこの1篇から背中を押されてきた。初孫が生まれて女の子だから恋に破れた時やつまずいた時に読ませたいと本棚に飾ったら古くて汚いと捨てられてしまった時はショックだったが、いつか機会があれば別の形で伝えていきたいと思っているし捨てた我が息子が「子を持って初めてわかる親心」と気随てくれたら本望だとも。私のこういうところが既に時代遅れなのか、毎年飾る私自身のひな人形はボロボロで髪の毛も抜けてきて、それでも飾ると優しいまなざしを私に向けてくれている。「なせば成るなさねばならぬ何事もなすは人の為ならず」と又自分に言い聞かせる。コロナ不況は出口が見えない。資金繰りも厳しい、大病を宣告された仲間もいる。どこまで私に試練を与えるのだとうな垂れる時に私の背中を押してくれる言葉が有り、私を助けてくれる仲間がいる。守りたい人や成し遂げなくてはならない事が有る。下を向いている暇はない。と叱咤激励することができる

そして又私は腹を括り考える「希望を捨てない」「考えろ」「策は有る」と。こんな社長を理解して信じて追ってきて欲しい。できれば君たちの希望の星になって、気持ちよく長く仕事できる会社にしたい。それにはみんなも自分に厳しく、周りの人と助け合い。自分たちのまずは義務を果たし、権利を広げておくれ！小さな会社でも取引先にひるまず物申し、現場で苦勞している我々の地位向上こそが私の原動力の一つでもある。自社だけでなくトラック協会の事や商工会議所の理事や運送事業組合の常任理事を務めているのも最新の情報収集や我々の地位向上のためにしている。私たちは「送料無料」と安易に使われ、値上げの理由の常に2番目に物流費の高騰といわれているが、コロナ禍も挟み子の5年運賃の改定を受け入れてもらっていないのが現状だ。だが、生活基盤を支えている縁の下の力持ち、人々の夢と希望を叶える物資を運んでいるベストパートナーワーカーなのにだ。これをもっと世間に知らしめようよ！それには皆さん方の仕事のやり方を更に安全・確実に、やるべき使命を果たしてね。孫に自慢のおじいちゃん・おばあちゃんになりましょう！



### 3月にお誕生日を迎える皆さん



3月8日 平塚（営） 郵政便 ██████████ 22日 平塚（営） 豊洲便 ██████████  
 25日 本社 浦和&厚木横低豊洲・東急便 ██████████ 27日 本社アルバイト ██████████